



この 河野としのり

レポート

河野としのり県議 ～対談～ たじま要 衆議院議員

後期高齢者医療制度は 差別ではないか？



後期高齢者医療制度に対して **たじま要** 衆議院議員 と共通の認識を確認する **河野としのり** 県議

河野としのり 県議
自治体病院が閉鎖し、救急の患者がたらい回しにされ命を落とす痛ましい事故が起きているが、医師不足を何とかすべきと県議会も国に訴えている。

たじま要 衆議院議員
政府与党は、医学部の定数をこれまで長期にわたりカットし続けてきた、民主党は「日本の医師は、地域偏在などではなく、絶対数が足りない」といっていたが政府与党は耳を傾けなかった。

民主党は、先進国の人口1000万人当たりの医師3人という医師数を目標し、大学の医学部の定員を1.5倍にする。



千葉県一区選出 **たじま要** 衆議院議員

たじま要 衆議院議員
この制度の導入に伴って、582の市町村が、75歳以上の方を対象とする人間ドック助成事業を廃止している。とんでもない。民主党は年齢で差別する後期高齢者医療制度を廃止し、あるべき高齢者医療について再検討することを要請した。

政府与党は、今でも毎年の社会保障費を2200億円も減らす方針を変えようとはしない。国民の命すら守る気が無いのであれば、政治を続ける意味はない。ここにも、政権交代を急ぐべく理由がある。



河野としのり県議 ～対談～ 年金のプロ 民主党 長妻 昭 衆議院議員

消えた年金をどうするのか？

長妻昭 衆議院議員
紙台帳そのものとの照合を全くしてないからです。今、全国の社会保険事務所や各自治体には、皆さんの納付した厚生年金、国民年金の納付記録そのものが示された紙台帳が8億5000万件があると確認されています。それをコンピューターの中のデータと照合し、そのコンピューターデータを正しくする作業が不可欠であると我々が前から口をすっぱくして言ってきたのですが、それをしていないのです。

河野としのり 県議
年金特別便という年金記録の漏れている可能性の高い方に送るブルーの封筒の郵便が届き、それをチェックしたが、それは漏れの可能性の高い記録を一緒に送らず、漏れ記録をつか



年金のプロ 民主党衆議院議員 **長妻 昭** 氏

河野としのり 県議
与党は3月末まで「消えた年金」を、解決すると言っていたが、5000万件の未統合記録の中で統合されたのは昨年の3月半ばで440万件で全体の9%も行っていない、このベイスでは十数年かかるのではないかと？



長妻昭 衆議院議員
この郵便が非常に不親切である。私達民主党は以前より、その年金特別便の中には5000万件の抜けている記録そのものを工夫して郵便で送れど度々も言ってきたが、それを無視して、「全く抜けた記録のない間違えたままの記録を送ります、抜けは自分で探して下さい。抜けがあるなら、それを社会保険庁に言って来なさい、もし社会保険庁の内部で持っている抜けた記録とどんぴしゃ合えば回復してあげます。」という、正に国民にクイズをさせるような手法で今も続けている。とにかく社会保険庁における不適正な処理については徹底的に調査し実態を解明する。